

豊前市外二町清掃施設組合議会報告

廣崎 誠治

9月6日、平成30年第3回定例会を開催し、平成29年度一般会計歳入歳出決算認定が主な議題で全会一致で認定されました。

平成29年度 一般会計歳入歳出決算認定

(千円以下切捨て)

歳入総額	4億7678万円 (前年対比 △9.8%)	歳出総額	4億5275万円 (前年対比 △10.8%)
◎ 主な歳入		◎ 主な歳出	
分担金及び負担金	3億5800万円 (上毛町7723万円)	総務費	1365万円 (職員人件費など)
使用料及び手数料	5773万円 (廃棄物処理手数料など)	衛生費	3億1900万円 (清掃総務費・塵芥処理)
財産収入	3083万円 (資源物売却収入など)	公債費	1億1952万円 (長期債償還元金・利子など)
繰越金	2061万円 (平成28年度繰越金)		

◎ 地方債残高 (単位:円)		
区分	決算年度末現在高	償還期限
灰固形化施設整備事業債	0円	平成29年9月
リサイクルセンター建設事業債	4億1739万9167円	平成35年(2023年)3月
合計	4億1739万9167円	

◎ 次年度繰越金 2403万円

吉富町外1町環境衛生事務組合議会報告

廣崎 誠治

8月29日、平成30年第2回定例会を開催し、平成29年度一般会計歳入歳出決算認定が主な議題で全会一致で認定されました。

平成29年度 一般会計歳入歳出決算認定

(千円以下切捨て)

◎ 主な歳入		◎ 主な歳出	
分担金及び負担金	7041万円 (上毛町3698万円)	総務管理費	2192万円 (職員人件費・し尿処理施設建設基金積立)
使用料及び手数料	475万円 (火葬場使用料・し尿処理場使用料)	し尿処理場管理費	3899万円 (職員人件費・需用費・委託料・補修工事請負費)
財産収入	28万円 (基金利子)	火葬場管理費	1402万円 (燃料費・火葬業務委託料・補修工事請負費)
繰越金	438万円 (平成28年度繰越金)		

◎ 次年度繰越金 460万円

京築地区水道企業団議会報告

荒牧 弘敏

8月27日、同企業団会議室で第2回定例会が行われ、平成29年度同企業団水道用水供給事業会計余剰金の処分及び決算認定議案のほか報告3件の審議が行いました。また、定例会後全員協議会が行われ、伊良原ダムからの水の供給開始が、来年6月から始まるとの報告もありました。

平成29年度 会計決算概要

◎ 収益的収入及び支出		◎ 資本的収入及び支出	
水道用水供給を行うにあたっての収入(水道料金など)と支出(水道用水をつくるための費用及び施設の維持管理のための費用)		施設の建設及び改良のための費用とその財源維持管理のための費用	
収益的収入	8億8840万円	資本的収入	34億6401万円
収益的支出	5億4023万円	資本的支出	37億6813万円
収益的収支の差額	3億4817万円	資本的収支の差引額	△3億412万円

※資本的収支の不足額は、収益的支出のうち現金支出の伴わない費用などで補填

文教厚生常任委員会 町内視察

三田 敏和

参加議員 文教厚生常任委員会(高畑、三田、茂呂、廣崎)

小学校ブロック塀撤去・フェンス新設箇所

南吉富・西吉富・友枝小学校:9月6日(木)

文教厚生常任委員会で、9月議会で補正予算に計上されている小学校のブロック塀を撤去し、フェンスを新設する箇所の視察を行いました。

これは、大阪府の地震で小学校のブロック塀が倒れ、女子児童が下敷きになって亡くなったことを受けて文科省が通達した「学校におけるブロック塀等の安全点検等について(通知)」を受けてのことです。

町内5小中学校のブロック塀の耐震対策、劣化・損傷などの状況を確認した結果、緊急を要する3小学校の対応箇所について、本年度ブロック塀を撤去し、フェンスを新設するとの説明を受けました。

後日行われた本会議で、ブロック塀撤去・フェンス新設を含む補正予算は、全会一致で可決されました。財源はふるさと納税の寄付金が活用されます。



※ブロック塀撤去・フェンス新設箇所
 南吉富小学校 長さ115m(校舎東側塀)
 西吉富小学校 長さ83m(校門右側塀)
 友枝小学校 長さ38m(校門両側塀)

総務産業建設常任委員会 町内視察

宮崎 昌宗

参加議員 総務産業建設常任委員会(岩花・田中・荒牧・峯・安元・宮崎)

町内企業の工場見学・意見交換

10月5日(金)

町内企業を訪問し、工場見学や景気動向や雇用状況などの説明を受け、意見交換を行いました。両企業の製品とも、確かな技術で世界中のあらゆる自動車や電化製品の一部となっています。上毛町で生まれた物が世界に羽ばたき活躍していることに感動しました。ぜひ町内の子どもたちにも社会見学などで知っていただきたいと思いました。議会でも何かしらの取り組みができればと思います。

日立オートモティブシステムズ株式会社 九州事業所(垂水)

1978年操業開始し、今年で40年の節目を迎えた、その間、数回の社名変更を経て現在に至る。生産品目は自動車部品のプロペラシャフトとエンジンのピストン。国内外の自動車メーカーに納入している。近年、全国的に人手不足と言われていますが、賃金などの平準化や福利厚生者の充実などで、人材確保は良好だとのこと。



神栄テクノロジー株式会社 福岡工場(下唐原)

1887年(明治20年)創業、元々は製糸業として日本有数の企業で、中津市内でも製糸工場を稼働していたが、1980年代に製糸業を撤退し電子分野を強化。2005年に本町へ進出。浮遊粒子センサなどが得意分野で世界中の空気清浄機に搭載されている。工場正門には、現在の環境状況を表示するLEDパネルがあり、上毛町のイベント情報の表示も行っていた。

